平成 30 年 3 月 22 日発行　NO. 2213　第 2366 例会　　会長　前川 成吉　　幹事　倉石 昌治　　会報委員長　桜井 隆宏

例会報告（平成 30 年 3 月 1 日）

点　　鐘　　会　長　　前川成吉
ソ　ン　グ　　「君が代」
　　「奉仕の理想」
唱　　和　　「四つのテスト」
会長挨拶　　会　長　　前川成吉
幹事報告　　副幹事　　杉森幹男
プログラム
　本日のお客様
　　特定非営利活動法人ＴＩＮＡ
　　代表取締役　秋葉秀央様
　第一例会につき　結婚・誕生祝い
　各委員会報告
　卓話（秋葉秀央様）

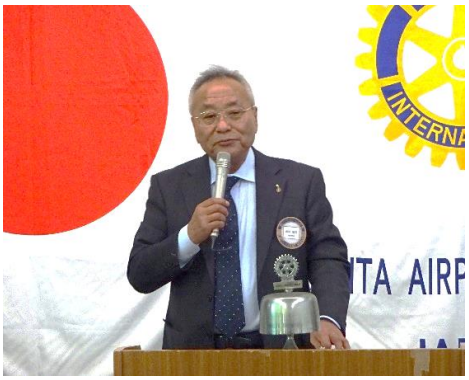
「乾杯のご発声」
　第 42 代会長　　齋藤逸朗会員

3 月誕生･結婚記念祝い

「誕生祝」　　小林定雄会員
「会員結婚記念祝」　川島宰会員　　高田一行会員
　　秋葉英昭会員
「奥様お誕生祝」　　小川佐内 夫人 清美様

小川会員 / 川島会員 / 前川会長 / 高田会員 / 小林会員 / 秋葉会員

会長挨拶



皆さんこんにちは。本日は、3 月第一回目の例会日という事で、理事会がございました。議題もたくさんありました。
又、時計塔も無事完成し、先月 26 日に倉石幹事、渡邊社会奉仕委員長、鈴木(匡)広報担当の 4 名で訪庁し、町長室にて佐藤晴彦町長に目録を差し上げてきました。尚、この日は千葉日報の記者の方も見え、取材をされて帰りました。後程、新聞をご覧になって下さい。

さて、3月は「水と衛生月間」です。きれいな水をもたらすロータリーの取り組みを当クラブもあらためて認識すると共にさらに活動を広げて行きましょう。

理事会報告

第9回定例理事会
日時：平成30年3月1日（木）　11：00
場所：成田空港南ＲＣ事務所
議題
第1号議案.　2月度会計報告
　承認されました
　本会計より時計塔追加分として20万円振込
第2号議案.　ガバナー公式訪問の日程について
　11/8（木）、又は第2木曜日であれば良い
第3号議案.　サケ稚魚の放流式について
　3/8(木)　PM 1：30　参加
　3/10（土）10:00（NPO法人TINA）　任意参加
第4号議案.　次年度補助金について
　保留
第5号議案.　横芝駅前時計塔設置について
　19日　完了
　26日　役場へ目録を進呈
　　前川会長･倉石幹事･渡邊社会奉仕委員長･鈴木(匡)広報担当の4名にて訪庁
第6号議案.　4/12合同例会（東金RC）
　会場：あづま庵　会費：8000円　会員3000円
第7号議案. 5/28（月）分区ゴルフ大会について
　場所：カレドニアンゴルフクラブ
　表彰式：クラブハウス
　受付等、会員が協力する
　終了後、希望者があづま庵
第8号議案.　親睦ゴルフ（総武中央ＬＣ）について
　越川親睦副委員長に依頼　予定6月
第9号議案.　その他
・例会場について…4月よりあづま庵にて行いたい

幹事報告

①例会のお知らせ
・茂原ＲＣ　・茂原東ＲＣ
・茂原中央ＲＣ　・大網ＲＣ
・多古ＲＣ　・松戸ＲＣ
・成田ｺｽﾓﾎﾟﾘﾀﾝＲＣ
②会報受領クラブ
・八日市場ＲＣ
③ﾊｲﾗｲﾄよねやま215号が届いております。
④八匝少年少女発明クラブより平成29年度修了式が終了しましたというお礼状が届いております。
⑤横芝町地域振興協議会会長より第3回こどもジョブパークの御礼のお手紙が届いております。
⑥2018年6月国際ロータリー年次大会参加旅行のご案内が届いております。
⑦総武中央ＬＣよりお礼状が届いております。

委員会報告

◇社会奉仕委員会

委員長　渡邊孝文

サケ稚魚の放流式について
3/8（木）光クリーンパークにて放流式が行われます。育てている方は参加をお願い致します。
また、3/10（土）は、本日お越し頂いております秋葉さんのところでも放流など催しがありますので参加できる方は是非お願い致します。

駅前時計塔設置について
2/19に工事が終わり、26日町に目録を贈呈いたしました。2/22夜間例会にて町長を交えて完成祝いを盛大に行いたいと思いますので是非参加してください。

卓話

栗山川の鮭の稚魚放流事業について

特定非営利活動法人ＴＩＮＡ
代表取締役　秋葉秀央様

横芝光町の中央を流れ、鮭が自然回帰する栗山川。そのシンボルでもあり、約 40 年の歴史がある「サケの稚魚放流事業」が危機的な状況となっております。本日は、千葉県水産総合研究センターの報告書を参考に、サケの稚魚放流事業の歴史背景、現在の状況についてお話させて頂きます。

栗山川には古くから鮭が遡上していたという記録が残っています。平安時代、栗山川の上流にある山倉大神（香取市）に鮭が遡上していたという記録が残されています。現在でも栗山川の遡上鮭を奉納しており、年 1 回「鮭まつり」が開かれています。さらには、栗山川中流に位置するはにわ博物館（芝山町）にも、鮭の埴輪が展示してあり、古くから栗山川に鮭が遡上していたことがわかります。

栗山川への鮭の放流を事業化したのは昭和 51 年、千葉県が主体となり、新たな漁業資源の開発を目的に、東北から受精卵を購入し、稚魚を放流しました。その翌年には夷隅川、5 年後には加茂川でも同事業が開始されました。

事業化から 4 年後の昭和 55 年、25 尾の鮭の自然回帰が確認され、昭和 61 年からは 3 年連続して 1,000 尾を越えたことから、事業河川として国から認定を受け、鮭の自然回帰促進、事業強化のための施設整備が開始されました。

[↑栗山川河口から 6.8km の位置にある横芝堰]

平成に入り回帰尾数が安定しなかったことや、鮭の肉質が低下していること、千葉・九十九里沖合での定置網漁業がなかったことから、平成 4 年に夷隅川、加茂川での放流事業は廃止され、比較的回帰が安定していた栗山川に集約を図りました。肉質の良い鮭（銀化鮭）の回帰に向け、50 万尾の稚魚を放流できる施設や設備の整備が行われ、技術指導等が導入され、平成 19 年には 46.6 万尾の稚魚を生産することに成功したのです。

[↑栗山川漁業協同組合の人工ふ化施設]

しかし、回帰数が安定しないことから、事業化は難しいと判断され、平成 10 年に千葉県が主体となった稚魚放流は廃止されました。（鮭の自然回帰は 4 年後が中心のため、調査事業は平成 14 年まで継続）

その翌年、事業主体は横芝光町と栗山川漁業協同組合に変わり、遡上見学や里親事業を目的とした、現

在の里親事業が開始されたのです。その後、栗山川上流の多古町、芝山町、香取市を含む5者による「栗山川サケ放流事業連絡協議会」が事業主体となりましたが、平成29年で同協議会は解散、横芝光町も事業から撤退し、現時点で平成30年度以降、廃止となっています。

[↑栗山川漁協での人工ふ化の様子]

私は、残念ながら【事業廃止】となった場合でも、4年間は採捕の継続や環境被害調査が必要と考えております。栗山川は、利根川からの取水が主であるため、源流が少なく、また砂地であるために鮭が産卵することができません。本事業は、養殖ですので、自然界のサイクルを乱している行為です。その責任を全うする必要はあるのではないかと考えています。

反対に【事業継続】となった場合も、問題は山積しています。漁業の施設や設備は平成17年を最後に更新しておらず、古いものは導入から30年を迎えます。人工ふ化設備だけでも過去に5000万円以上の投資がされており、その更新には莫大な費用が発生します。運用面では、固定費は160万円前後（年額）の原資もなく、人材面においては、漁協の高齢化と後継者不足、技術の継承も解決の見通しはありません。さらには、平成29年度の採捕数は100匹に至らなかったという現実があります。昨今の異常気象の元凶といわれる黒潮の蛇行や北の海での鮭の乱獲が原因と伝えられておりますが、調査研究は16年前に終了しており、回帰率増加への調査研究も行っていかねばなりません。

[↑横芝堰に遡上した鮭（オス）]

SNSでの今後についてのアンケートでは、45%の住民が「ビジネスの手法を取り入れ、持続可能な資金を捻出する策を検討し、継続させるべき」、そして35%が「最善策を描き、主催や原資などをふくめ存続を見直すべき」と回答がありました。

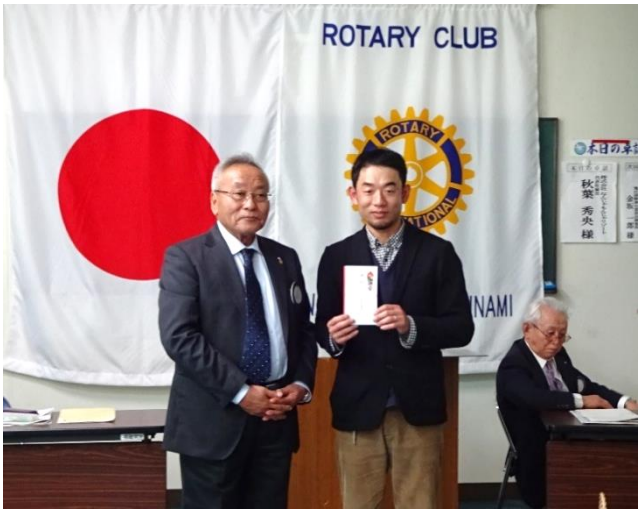
そこで、採捕許可を題している千葉県農林水産部漁業資源課に確認したところ、新たな希望を見出すことができました。そもそも千葉県では【千葉県内水面漁業調整規則】によって、採捕許可を得て採捕した鮭の販売は規制されていますが、【譲渡】は規制されていないことがわかりました。茨城県以北では、郷土愛の育成や自然環境教育、食育や川育という観点から、遡上鮭を利活用したつかみ取りイベントやイクラづくりイベントなどが行われるようになっているため、この利活用については交渉次第といった空気感を感じることができました。

私はこの町で生まれ育った人間として、栗山川の鮭の稚魚放流事業が即時廃止、即時撤退という決断は安易だと思います。仕事柄、県内小中学校の校外学習や農業体験の受入れで県内の子供たちや先生方にお会いすることが多く、その際に『横芝光町をご存知でしたか？』と伺うと、『鮭の里親の町』として知名度が高いということも実感しています。

2040年には自治体の半数が消滅し、その候補でもある横芝光町において、鮭の稚魚放流事業は県内唯一の地域資源であり、ブランディングツールであると考えます。過去に県内都市部の自治体と繋がりを生んできたこの事業は、昨今話題の杉並区と南伊豆町など「都市と地方の自治体連携」を実現させるた

めの橋渡し役という、横芝光町存続のカギを握る大きな可能性と夢をもった事業であると考えています。

秋葉秀央　昭和 55 年横芝光町生まれ。鮭の里親と共に小中学生時代を歩んだ。家業の宿泊業と農業を営む傍ら「自分が地元を自慢する・自慢できる」ことが、地域活性の起爆剤であると考え NPO 法人を運営している。



ニコニコボックス

川島宰君
　…去る 2 月 25 日地区大会に両総観光をご利用いただいたので
　3 月 5 日結婚記念祝いのため
青柳誠君・越川忠君・齋藤逸朗君・前川成吉君
杉森幹男君・渡邊孝文君
　…地区大会お疲れさまでした
土屋俊夫君・上原広嗣君・秋葉英昭君
　…秋葉秀央様卓話ありがとうございました
　多くの鮭が帰ってくるといいですね
小林定雄君　…誕生祝ありがとうございます
高田一行君　…結婚記念祝ありがとうございます

本日計	24,000 円
累　計	524,004 円

出席報告

例会日	会員数	出席	出席率に用いる数	%
3 月 1 日	33	23	33	69.70

☆ **欠席をしたらメークアップをしましょう** ★

2017-18 年度　地区大会

2 日目（2/25）　ホテルニューオータニ幕張

松宮剛ＲＩ会長代理